

## トレーナーの仕事は 楽しませること

「きっかけは、神奈川県のとある水族館でイルカのショーを見たことでした」。

幼い頃から動物が大好きだったという日暮さん。小学校低学年の時に、イルカのトレーナーになる夢を持ったそうです。

「そのイルカショーでは、選ばれた観客がイルカにサインを出すことができ、運よく私が選ばれました。自分のサイン通りに動くイルカを見て、とても感動しました。その時からイルカ一筋でしたね」。子どもの頃からの夢を叶えるために遠い北海道の地に移住してきた日暮さんは、今では、イルカのトレーナーとして多忙な毎日を送っています。

トレーナーの仕事はイルカの遊び相手だと言う日暮さんは、「イルカは、楽しくないと指示通り動いてくれませんし、トレーナーから離れていってしまいます」と話します。

「調教の内容には変化を付けて、イルカたちが飽きずに楽しめるよう工夫しています。イルカは言葉を話さないので、調教の最中などに自分から離れていってしまった



▲イルカショーでイルカに指示を出す日暮さん

ときは、どうして楽しませることができなかったのかと悩みます。だからこそ、自分の指示がイルカに伝わり、心が通じた瞬間は本当にうれしいですね」。

## また来てもらえるような ショーをしたい

トレーナーになって4年。仕事にも慣れ、いろいろと考える余裕ができたと言う日暮さんは、登別マリンパークニクスでしか見ることができないすてきなショーをしたいと考えています。

「より多くの人にイルカの魅力を伝えたい。そのためにも、今まで以上に観客が楽しめる、登別マリンパークニクスや登別にまた来たいと思ってもらえるようなショーをしたいですね」。

大好きなイルカと共に、日暮さんは今日も観客を楽しませます。



KIRARI

ひぐらしみゆき

**日暮美友紀**さん(登別東町)

市の観光の玄関口であるJR登別駅から徒歩5分に位置する登別マリンパークニクス。デンマーク王国に実在する城をモデルとした『ニクス城』を中心に、イルカやアシカのショー、ペンギンパレードなどが人気を博し、登別市を代表する観光スポットの一つとなっています。

愛らしい姿や巧みな芸で来場者を楽しませるイルカたちのそばには、イルカたちを調教し、ショーの指示を出すトレーナーの姿があります。

日暮さんは、子どもの頃からイルカのトレーナーに憧れ、登別マリンパークニクスで働くために神奈川県から登別市に移住してきました。今回は、イルカのトレーナーとして、毎日イルカと向き合う日暮さんの思いや今後の目標について伺いました。

## 観客もイルカも共に 楽しめるショーをしたい。

平成5年神奈川県生まれ。23歳。

東京都の専門学校に在学中、株式会社北海道マリンパークの求人に応募し、早期就職の制度を利用して平成24年10月に同社へ入社。イルカのトレーナーとして、人気アトラクション『イルカショープール』で来場者を楽しませている。